

しおがま 市議会だより

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Feb.2024 (令和6年2月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>

令和5年 12月定例会号

- 議案審議の概要 P2
 常任委員長報告
- 討論 P3
- 議会中継のお知らせなど P4
- 市政に対する一般質問 P5～9
- 議案等賛否一覧表など P10



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧になれます。



初日の出

定例会のあらまし

令和5年12月定例会は、12月8日から20日までの13日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、議案8件を可決し、また、追加議案1件が上程され、市長より議案の説明を受けた後、即日審議の上可決しました。さらに、議員提出議案1件を即日審議の上否決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

本会議	12月 8日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託
委員会	12月12日	総務教育常任委員会
委員会	12月13日	民生常任委員会
委員会	12月14日	産業建設常任委員会
本会議	12月15日	市政に対する一般質問
本会議	12月18日	市政に対する一般質問
委員会	12月19日	議会運営委員会
本会議	12月20日	各常任委員会委員長報告、討論及び採決、追加議案説明・審議及び採決、議員提出議案審議及び採決

5億112万8千円の
増額補正予算を可決

12月定例会における一般・特別会計の補正予算は5億112万8千円で、補正後の予算総額は508億5918万3千円となりました。
主な事業は次の通りです。

一般会計

〔補正額〕

4億9831万2千円

1 国の補正予算を活用した事業

〔補正額〕

4億7274万2千円

○エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援事業

物価高騰の負担感が大きい、低所得世帯を支援する目的で住民税均等割の非課税世帯、及び令和5年1月からの家計急変世帯に7万円を給付

2 通常事業

〔補正額〕 2557万円

○小学校施設維持管理費

(補正額 1560万円)

○中学校施設維持管理費

(補正額 640万円)

来年度に学級数の増が見込ま

れることから、現在未整備となっている教室へのエアコンの設置などを実施

など

特別会計

〔補正額〕 281万6千円

○介護保険事業

介護保険報酬改定などに対応するためシステムを改修

条例

塩竈市自転車等駐車場条例を廃止する条例(東塩釜駅駐輪場における管理人廃止、及び利用料金の無償化)

外3件



小学校教室のエアコン

常任委員長

報告

12月定例会において、議案8件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 浅野敏江

○議案第68号ないし70号、72号、74号、75号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔二般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の要望意見〕

○基本給などの引上げにより、多額の財源が新たに必要になるが、市が提供する行政サービスが下がるといった影響がないようにされたい。

〔会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の要望意見〕

○会計年度任用職員の給与の

増額は、自治体により令和5年4月に遡り適用するケースもある。

市当局の説明では、会計年度任用職員は毎年の契約であり、4月に遡り適用するのであれば、仮に人事院勧告が削減となった場合、当初の契約から賃金を下げることになるから、年度当初から行うとの考えであるが、会計年度任用職員にとって有利なやり方で昇給すべきである。

〔二般会計補正予算要望意見〕

○学校給食調理業務の一部委託は、アレルギー対応食の取扱いなど、学校給食の安全性について十分に確保されたい。



民生常任委員会

委員長 菅原善幸

○議案第72号令和5年度塩竈市一般会計補正予算、議案第73号令和5年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算は、質疑採決の結果原案のとおり可決すべきものと決しました。



産業建設常任委員会

委員長 土見大介

○議案第71号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔塩竈市自転車等駐車場条例を廃止する条例の要望意見〕

○東塩釜駅自転車等駐車場の管理体制が来年4月から隔日での見回り点検と監視カメラによる監視となるが、警察に届け出る事案などが万一発生した際、当時の記録が無く管理不十分と指摘されないよう、監視カメラの映像を数か月間にわたり保存するなど管理記録の保管の在り方を検討し対策を講じられたい。

○東塩釜駅自転車等駐車場の利用料金は、来年4月から無料となる。4月を超えて利用できる定期券を購入済みの方に対しては、利用料の返還が行われるが、全ての対象者に対し、確実に返還手続を実施されたい。

○各駅の駐輪場の内、終日駐輪したままの自転車が見受けられる。定期的なパトロールと常駐する自転車台数の把握などを行い、放置自転車に関する課題の認識に努めるとともに、新たな事案が発生した際の対応に活かすなど、利用者

者が安全安心に利用できるよう適切に管理されたい。

討 論

12月20日の本会議において
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

議案第69号

反対討論 議案第69号は、令和5年人事院勧告などを踏まえ、市長などの特別職の職員、議員及び市立病院事業管理者の期末手当について支給月数を0・1月分引上げ、年間3・3月から3・4月とするものである。国や県が指標を出したことから人事院勧告を踏まえて引き上げようとする

賛成討論 議案第69号は、市長などの特別職や議員などの期末手当の引上げを特別職国家公務員に準拠し、引き上げられるものである。期末手当については、これまで人事院勧告に準拠し改定を行ってきたところであるが、特別職の給与や議員報酬については、市内の経済状況などを鑑み平成8年度に改定されて以降、長きにわたり引上げの見合わせをしてきた。仙台市を除く県内34市町村の中では本市の市長の給与は上から25番目であり、

ものだが、本市としてどのよう
に決定するかが重要であり、
主体性が全く見られない。人
事院勧告は国家公務員と民間
給与との差を均衡させること
を基本に勧告しており、特別
職は特別職公務員ではあるが、
地方公務員法は適用されない。
また議員の報酬は、特別職給
料等審議会で審議されるもの
であり、人事院勧告は期末手
当を増額する根拠になり得な
い。

新型コロナウイルスや昨今の世界情
勢の影響による物価高のほか、
増税や社会保険料の値上げな
ど、市民の負担は増している
が賃金は横ばいもしくは減少

議員報酬は26番目となってい
る。また期末手当においては、
平成8年度は支給月数が4・
0月であったが、今回の引上
げにより改定される支給月数
は3・4月であり、27年間で
マイナス0・6月となってい
る。

さらに議員活動は市民を代
表してその意思を市政運営に
反映し、市の事務事業執行を
監視するという目的のために
行われており、その責任は重
大であるとともに市民のニー
ズは多様化しており、議員1

し、賃上げは追いついていな
い。他自治体では本市同様の
議案を可決した自治体だけで
なく、議案を取り下げた自治
体もある。また、現状での特
別職の職員や議員などの報酬
額は市民と比べ大きな収入格
差があるが、本来は大きな差
があつてはならない。市民が
疲弊し生活に苦しむ中、本議
案が上程されたこと自体が悪
手である。まずは現状を適切
に捉え、市民生活を改善・向
上させた後に検討すべきであ
り、もつと地域に目を向けて
未来へ投資するべきである。

以上のことから反対とする。

人当たりの負荷は増している。
市長においても同様であり、
市民のニーズは複雑多岐・高
度化して変化が非常に速い時
代となっており、これまで以
上に果たすべき職責及び役割
は大きく、職務の困難度は増
している。

市内の経済状況を考慮しつ
つも全国的な賃上げの流れを
止めない観点から、特別職も
一定程度ではあるが人事院勧
告に準拠した改定を行うべき
と考える。
以上のことから賛成とする。

議案第71号

反対討論

平成7、8年には
東塩釜駅に向かうトンネル両
脇には、多数の放置自転車
があつた。通行に危険が伴うこ
となどから駐輪場設置を求め
る要望書が当時の市長に提出
され、住民の強い要望の結果、
東塩釜駅に駐輪場が設置され
た。その後も放置自転車の対
策を求める要望書が提出され
るなど近隣住民の粘り強い運
動により、最近では現行の管
理体制のもと盗難・放置自転
車の報告は無くなった。

本議案は東塩釜駅駐輪場の
管理体制見直しに伴い、関係

条例を廃止しようとするもの
である。管理人不在の市内駐
輪場で放置自転車が減少して
いることもあるが、利用者の
減少に伴う採算性の悪化が主
なる提案理由である。管理人
がいて安心など様々な意見も
あるが、利用者や近隣住民へ
の意見聴取などを市は実施し
ていない。かつて住民の強い
要望と住民運動により構築さ
れた現在の管理体制を変更す
る決定に際しては、利用者や
地域住民の意見を丁寧に聞き
取り決定すべきであり、今回
の提案は拙速と考える。

以上のことから反対とする。

賛成討論

東塩釜駅駐輪場は、
東塩釜駅の乗降者数減少とと
もに、駐輪場利用台数や利用
料金収入が減少している一方、
駐輪場管理費は年々増加し、
管理体制の見直しが求められ
ている。令和4年度の管理費
の赤字額は367万円である。
事業開始後27年間の累積赤字
額は4152万円で、赤字解
消の見込みはない。1日当た
りの利用台数は平成13年の2
65台から令和4年には10
5台に減少している。また、
市内の放置自転車と盗難件数

は大幅に減少している。条例
廃止により4月から無料化さ
れることによつて、市民サー
ビスは向上し、利用台数の大
幅な増加が見込まれる。管理
体制は定期的なパトロールや
監視カメラによる監視となり、
適切に管理され、管理経費は
大幅に縮減となる。反対や継
続審査を求める理由は見当た
らず、一日も早く条例廃止を
決定し、利用者に無料開放し
ていただきたい。

以上のことから賛成とする。

インターネット・宮城ケーブルテレビで 塩竈市議会中継を放送しています ～インターネットでは過去の録画もご覧いただけます～

インターネット

- ・パソコン
- ・スマートフォン
- ・タブレット端末

「塩竈市インターネット中継」をキーワードに検索してください。

二次元コードでもアクセスできます。⇨



ケーブルテレビ

宮城ケーブルテレビ（マリネット）

[111ch] コミュニティチャンネルで生放送します。

録画放送では平成 28 年 9 月定例会以降の本会議、予算特別委員会、決算特別委員会などをご覧いただけます。本会議の一般質問、施政方針に対する質問については、議員名や会派名でも検索できます。ぜひご覧ください。

塩竈市議会だより・会議録 バックナンバーについてのお知らせ

塩竈市議会だより

塩竈市議会だよりのバックナンバーは平成 16 年 6 月定例会号から塩竈市のホームページで公開しております。

「塩竈市議会だより」をキーワードに検索してください。

二次元コードでもアクセスできます。⇨



塩竈市議会会議録

塩竈市議会会議録のバックナンバーは平成 16 年第 1 回定例会から塩竈市のホームページで公開しております。

「塩竈市議会会議録」をキーワードに検索してください。

二次元コードでもアクセスできます。⇨

なお、冊子は、塩竈市民図書館及びふれあいエスパ塩竈で閲覧できます。





市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月15日、18日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行ったその他の質問項目も掲載しています。



市民クラブ
今野恭一

企業誘致は

議員 台湾の半導体受託製造大手のP S M CとS B Iホールディングスは、自動車や産業機械に使う半導体を生産するため、共同で半導体工場を大衡村に建設する。S B Iと資本業務提携にある地方銀行は、収益基盤拡大の機会とみている。工場建設地の選定は、半導体製造に欠かせない工業用水や電力の安定的な確保のほか、材料や製品の円滑な輸送などを条件としていた。経済産業省は半導体産業へ補助金による支援を実施する方針である。P S M Cは半導体工場の建設計画を具体的に提示し、技術や人材の提供も行うことから、こうした企業をぜひ誘致してはいかかがか。

産業建設部長 今回の半導体企業の進出については30を超える自治体が候補地に立候補した。宮城県に決まった理由は、インフラや災害への強度、

周辺の住環境のほか、県内に東北大学があり、今後の産官学連携のしやすさが決め手となった。本市でこの条件が全て整うかという困難であり、工業団地を形成する一団の土地は持ち合わせていない。例えば、規模的には劣るかもしれないが、水産加工団地に今後の産業を担うような企業の誘致などを行い、市として取り組んでまいりたい。

「ほいみち」は

議員 市では国の歩行者利便増進道路制度活用に向けた実証実験とし、11月11、12日に壺番館付近から鹽竈神社表坂下までの鹽竈海道周辺にて、壺竈門前町カフェタイムを行った。その実施状況について伺う。平成2年頃、北浜沢乙線拡幅工事の事業説明会にて、「ふるみど」という構想があった。神社と民地の境目に道路を整備し、伊勢神宮近くの「おかげ横丁」のようにする提案であったが頓挫した。今回は成功を期待している。

産業建設部長 門前町カフェタイムは、ほこみち制度の指

定を目指し、使用可能な空間の確認や利用方法の検討、利用者の意見聴取を目的に行われた。壺番館付近から鹽竈神社表坂下までの歩道の一部をイベントで使用できるようにし、沿線の店舗に働きかけ、歩道側へ少しはみ出した出店や飲食スペースの設置を奨励した。同日には門前市などのイベントも開催され、回遊性にぎわいづくりにおける相乗効果も狙った。結果は、門前町ミーティングの内容を反映できたという好意的な反応や、今後もこの取組を続けたいという期待も寄せられた。引き続き改善をし、にぎわいづくりを模索してまいりたい。



実証実験「壺竈門前町カフェタイム」

働き方改革は



塩竈維新の会
桑原成典

議員 ①現在、社会では働き方改革と称し長時間労働や、非正規雇用の処遇などの是正に向け、法律改正の動きや現状の働き方を改善しようという時代の流れがある。本市職員はどのような働き方をし、改善や工夫などを行ってきたか具体的な取組を伺う。

②本市職員の勤怠管理はどのように行われているのか。時間外勤務や休日出勤は、上司の許可により実施されているのか。妥当性や必要性を精査し承認しているのか伺う。

市長 ①ワークライフバランス推進のため、定時退庁日の設定などによる長時間労働の抑制や、年次有給休暇の取得推奨に努めている。子育て世代などが柔軟な働き方を選択できる職場づくりのため、テレワークや時差出勤の導入に向けた制度は、先進事例などを研究し導入を検討してまい

りたい。
総務部長 ②正職員の勤怠管理はシステム管理、会計年度任用職員は書面での管理である。時間外勤務などは事前申請し、上司が妥当性を精査し承認している。特定の職員に時間外勤務が偏らないよう部内で状況把握にも努めている。

学校給食は

議員 ①給食費無償化の費用は約1億9千万円か何う。

②給食費無償化は子育て世代の負担軽減と格差解消のほか、教職員の負担も軽減される。現状の無償化は困難か何う。
 ③充実した政策などがなければ移住者は増えない。無償化は未来への投資である。もつと市民にベクトルを向けるべきではないか。
 ④無償化にこだわらず補助はできないのか。

市長 ③経費圧縮のため給食センター設置が議論されてきたが、建設費用は約15〜16億円である。給食費無償化は毎年財源確保が必要であり、現状では困難である。④全体のバランスの中で給食費をどう

取り扱うかということになる。給食センター設置の是非については、早急に整理すべき課題であり、例えば浮いた経費をどのように再配分すべきか、様々なことを前向きに検討する努力を続けてまいりたい。
教育部長 ①年間約1億9千万円必要である。②自治体の財政状況によらない平等な教育環境確保のため、国による恒久的な財源措置が必要である。引き続き国に財政支援を要望してまいりたい。



学校給食（中学校）

その他の質問項目
 ・しおナビバス・NEWしおナビバスは
 ・带状疱疹は
 など



塩釜を元気にする会
土見大介

清掃工場の整備計画は

議員 供用開始から47年が経過する清掃工場は建て直しが計画されており、今後の整備には環境負荷への配慮が欠かせない。省エネルギーであることは当然ながら、余熱などの生じたエネルギーを可能な限り活用すべきと考えるがいかがか。また、他自治体では余熱や清掃工場の施設を活用し、地域産業への支援や新産業の創出を実現している事例もある。産業への活用を念頭に整備計画を立てる必要があるが、市の考えを何う。

環境課長 清掃工場の余熱利用については、基本的に施設内での活用を想定しているが、可能な限り施設外へも供給を行い、周辺地域に貢献してまいりたい。

PFIの導入可能性調査を行い、どのように民間の協力を得ながら施設運営を行っていくかということの基本計画

の中で定めていく。施設内にコミュニティ施設を置けないかなどの検討も併せて行う予定である。また、清掃工場周辺の水産加工団地や仲卸市場周辺には様々な業種の企業があり、連携を深めて地域経済がより活性化できるような施設としたい。



地域に活力を生み出す清掃工場の整備を！

協働のまちづくりは

高齢化やなり手不足などを理由に、運営に悩む地域は多い。町内会への支援の一環として、市では補助金や助成金を交付しているが活用状況は低調であり、金銭面以外の支援策が求められている。各町内会の課題を調査し人材の確保や育成など、状況に応じた支援が必要と考えるがいかがか。
市長 町内会が抱える様々な問題は、短・中長期的な視点で細かく整理する必要がある。活動を後押しするため、ご意見を伺いながら、町内会各事業に10万円の補助を行った。自由に使っていただきたいところではあるが、公金であることから一定の枠をはめさせていただいた。多くの町内会に補助制度を活用いただくには提出書類の簡素化や丁寧な説明を行っていく必要がある。
市民生活部長 町内会や行政だけでは解決できない問題に対し、専門家などの力を借りるオープンイノベーションの考え方などを先進事例から学んでまいりたい。

議員 住民ニーズは多様化し、行政の財源は乏しくなる。今、地域に根ざした活動を行う町内会の必要性はより一層高まっている。だが、役員の

その他の質問項目
 ・浦戸振興は



公明党
小野幸男

視覚障がい者の 情報取得は

議員 視覚障がいのある方で点字を読めるのは僅か一割。多くの方は、主に音声や拡大文字により情報を得ている。方法としては、補助者による代読やパソコンの音声読み上げソフトを用いた方法、文字内容をコード情報（*音声コード）に変換して印刷したものを活字文書読上装置を使い音声化する方法がある。障がいの有無により分け隔てられること無く、情報の取得やその利用、意思疎通ができる社会の実現を目指す法整備もされていることから、行政情報の音声コード化を、早急に取り組むべきと考えるがいかがか。

また、公的な印刷物などに音声コードが付いていることが分かる「切り欠き（紙媒体端の半円状の穴）」を付ける取組についても伺う。

（*紙媒体に掲載された印刷

情報を、デジタル情報に変えるための二次元バーコード）福祉子ども未来部長 音声コードを用いた情報発信は、視覚障がいのある方を対象とした事業案内やパンフレットなどに、音声コードを掲載している。音声コードには、主にSPコードとユニボイスの二種類があり、本市は、文字情報を二次元コードに変換し、専用のスマートフォンアプリを使いその内容を音声で聴くことができるユニボイスという音声コードを活用しながら行政情報を提供している。

「切り欠き」については、ユニボイスによる音声コードを使用した印刷物には、規定に沿った切り欠き加工を施し情報提供を行っている。

聴覚障がい者 支援は

議員 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑なコミュニケーションを図るための取組について伺う。

本市では、対話支援機器コミュニケーションの設置など行っているが、耳の周囲にある軟骨を振動させ音を伝える「軟骨伝

導イヤホン」を導入している自治体も多く、音漏れがしにくいという特性から、窓口での相談の際に、個人情報にも配慮した対応ができると聞く。本市でも「軟骨伝導イヤホン」の導入を考えると聞かか。福祉子ども未来部長 「軟骨伝導イヤホン」の窓口利用実績としては、一部の自治体や病院、銀行の窓口で導入が進んできている。先進事例や使用感なども検証し、今後導入を検討してまいりたい。



声が聞こえやすくなるスピーカー コミューン（障がい者支援係窓口）

- その他の質問項目
- ・不登校支援は
 - ・保育環境の充実は



かいしん
佐藤公男

観光推進は

議員 ①市内観光の要でもある各種イベントの日程調整、内容を精査し、効果的に運営することについて伺う。

②東松島市を含む三市三町の「松島湾グランド構想」は広域であるため日帰り客層には合わない。令和6年に創建1300年を迎える多賀城市とのこれまで以上の観光連携（協力）について伺う。



観光地である門前町の街並み

③各自治体の観光誘客が盛んである。県内14市のうち9市は観光協会を法人化している。①で述べたことの役割を果たすべく、塩竈市観光物産協会の法人化について伺う。

産業建設部長 ①「どつと祭」の目玉となる三陸塩竈ひがしもの水揚げ状況があまり良い状況では無かったことから令和4年の魚市場「どつと祭」とマリゲート塩釜の「塩竈の醍醐味」が同日開催となっていました。②隣接する多賀城市や松島町はそれぞれ個性や魅力があり、イベントやキャンペーンなどを主体とし、なるべく長時間滞在できるようにルートをづくりといった観点で連携を強化していきたい。③観光物産協会の法人化は長年の課題であり、部会を立ち上げて検討した経過はある。

公民館の 利用規約は

議員 塩竈市公民館やエスプの利用について、事前予約の申込開始日が原則として2か月前の1日からとなっている。会議の利用であれば2か月前

でも差し支えないとは思いますが、踊りなどの催事を行う複数の利用者からご意見を伺ったところ、舞台美術、照明、音響業者の手配を考えると、2か月前では間に合わないとのことであった。

周辺の多賀城市、松島町、利府町、七ヶ浜町の状況を確認したところ、すべて利用日の3か月前からの予約受付であった。本市においても予約申込開始日を他市町と合わせるときだと考えるが、市の見解を伺う。

教育部長 事前予約の受付について、規則では3か月以内としているが、教育委員会が認めた場合は2か月以内と変更できることから、現状は2か月先の末日分までの予約を受付しているところである。塩竈市公民館やエस्प、市民交流センターについては令和6年度から指定管理者制度に移行する。議員ご指摘の受付期間の拡大については指定管理者と管理運営方法に併せて協議しているところである。

その他の質問項目
 ・新型コロナ関連は
 ・悪臭問題は



かいしん
鈴木新一

子育て支援事業は

議員 本市の子育て支援の施策の柱には、健やかに育つ、育てる環境づくりとあるが、現在、出産や育児などの費用が、経済的な不安を伴う要因ではないかと考えられる。

そこで、経済的支援、児童手当などの助成や育児支援の内容と今後の追加的な施策を伺う。また、一連の支援策などを一つにしたパンフレットなどがあると分かりやすいと考えるがいかがか。

福祉子ども未来部長 子育て支援策は、現在大きく分けて経済的支援、母子保健支援、育児サポート支援の3つである。追加的な施策は、4月にも家庭センターが開設されることから、妊娠、出産、育児、家庭の困りごとなどに対応した総合窓口を整備していく。また、産後ケアや子育ての不安を解消する事業、子ども食堂などの子どもの居場所づくりにも力を入れていきたい。支援の周知は、ホームページや個別のリーフレットなどで行っているが、事業数が多く分かりづらいことから、今後はあまり費用をかけない工夫をし一連の支援策を掲載したパンフレットなどの作成を検討していきたい。

議員 昨年今年と町内会等コミュニティ強化支援事業として、上限額10万円の補助金が交付され、使途として多かったのが、ごみ集積所のごみ籠の製作であった。

町内会支援は

議員 昨年今年と町内会等コミュニティ強化支援事業として、上限額10万円の補助金が交付され、使途として多かったのが、ごみ集積所のごみ籠の製作であった。

そこで、ごみ籠に関する相談窓口や製作会社や販売店などの選定を手助け出来るような取組が出来ないか伺う。

また、それに関連したリーフレットを作成し町内会に周知してはと考えるがいかがか。

市長 各町内会のごみ集積所ごとに、ごみ籠の形状に違いがあり、特注すると10万円では足りないと言われた事がある。専門的にごみ籠の製作をしている会社も無いと聞くが、市内で製作できる事業者など

その他の質問項目
 ・高齢者支援事業は
 ・ふるさと納税は
 ・带状疱疹予防は
 など



補助金で製作したごみ籠 (向ヶ丘町内会)

を調査し、町内会に対して情報提供ができるよう心掛けてまいりたい。

市民生活部長 ごみ籠に関わらずごみの問題に関しては、環境課が相談窓口として対応しているので、気軽に問合せしていただきたい。

また、町内会よりごみ籠の製作に関して要望が多いようなので、製作会社や販売店の情報などを取りまとめたりリーフレットなどを作成し情報提供に努めてまいりたい。



日本共産党
塩竈市議団
鈴木悦代

市営貞山通改良住宅は

議員 市営住宅の一部では老朽化が進んでいる。市営貞山通改良住宅では、排水設備の不具合や住民の高齢化が進む中、エレベーターが無いなど、様々な不便さ、困りごとを抱えている方が多くいる。このような問題は、貞山通住宅に限らず、老朽化が進んだ市営住宅の共通した問題でもある。

①本市公営住宅等長寿命化計画の概要と、市営貞山通改良住宅の位置付けについて伺う。
 ②建て替えを希望する声が出ている。計画の見直しが必要と考えるがいかがか。

市長 ①令和12年度までの市営住宅の基本的な活用や整備方針を示し、安全で快適な住まいを長期にわたって確保するため、予防保全的な観点に立った修繕方針などを定めることで、建物の長寿命化と維持コストの縮減を目指すものである。貞山通改良住宅は築

など

53年を経過している棟もあり、今後用途廃止の在り方について検討予定としている。

産業建設部長 ②令和12年度までとなっている現計画については、社会動向の変化や国の法制なども変わる可能性もあり、それらを考慮しながら改定していく。



市営貞山通改良住宅

舟入地区の災害時避難経路整備は

議員 舟入地区で避難経路に不安を感じている方々がいる。私自身、県営天満崎住宅脇の階段を上って山道に入る避難経路を歩いてみた。その時は、

ぬかるみもあり、雑草が繁つていて、夜間の避難は特に大変だろうと感じた。

①本市の災害時避難経路について、並びに舟入地区の避難経路と日常的な管理について伺う。

②地域ぐるみで防災意識を高めることが必要だ。緊急時マップづくりの促進など、支援を強めていく事が大事だと思うがいかがか。

総務部長 ①避難ルートのほとんどは市道といった公道になっていることが多いが、舟入地区の避難経路は、一部区間において所有者の協力をいただきながら民有地を避難ルートにしている。定期的にパトロールをしながら安全確保を図っていききたい。

②市内の町内会のうち、約半分が自主防災組織を設立し、地域で共助の観点で活動されている。残り半分の町内会に對しても危機管理課の職員がお手伝いさせていただきながら、積極的に自主防災組織の設立を推進していききたい。

その他の質問項目

- ・市営錦町東住宅への集会所設置は
- ・災害公営住宅の空き家は



日本共産党
塩竈市議員
小高 洋

性的指向及び性自認により困難を抱えている方々の権利保障と支援は

議員 これまで、LGBTQなどいわゆる性的マイノリティとされてきた方々について、性的指向及び性自認(SOGI)として性の多様性の一つであると捉え、困難と忍耐を強いる社会から、社会の側を変えたいという考え方が広がってきた。①本市の「第3次しおがま男女共同参画基本計画」において、SOGIについての計画上の位置付けと考え方について伺う。②理解促進の取組と、支えあう地域づくりの取組について具体的に伺う。また、本市における今後の取組の考え方について伺う。

市長 ①LGBTQの理解促進を求める内容も具体的に示している。③まずは、市役所

全体でLGBTQに関する理解醸成に努めていきたい。

市民生活部長 ②9月の男女共同参画月間などでの啓発活動や市内全ての中学校で外部講師による男女共同参画社会の講演会を実施している。多様性への理解についての啓発活動を行っていく。



全てのパートナーに権利保障を

本市小中学校の給食無償化は

議員 本市小中学校の学校給食無償化について、これまで度も幾度となく求めてきたが、改めて実施を求める市民団体から提出された署名や、要望

の受け止めについて伺う。

本市にあつては、無償化に伴う財源の捻出が困難として、権利保障と支援の観点から、まず一部減免などでの実施の考えについて伺う。

教育部長 令和5年5月と7月に合わせて2796名の署名が提出されており、給食費無償化に対する市民の関心の高さを示すものと受け止めている。全額では無く一部無償化を行うことについては、一部の自治体で実施されていることは承知しているが、それでも新たな財源が必要となる。学校給食費無償化については重要な施策であることは認識しているが、全額無償化とする場合、年間1億9千万円の財政負担が発生する。本市としては、各自治体の財政状況に関わらず、平等な教育環境を確保するためにも、国による恒久的な財源措置が必要であると考えている。国に対して、引き続き市長会を通して財政支援を行うよう要望していききたい。

その他の質問項目

- ・保育事業は
- ・利府中インター線の整備は
- ・地域の住環境整備は

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号・件名	会派名・議員氏名		日本共産党 塩釜市議団		市民クラブ		塩竈維新の会		塩釜を元気にする会		公明党		かいしん		審議結果				
		伊勢 由典	小高 洋	辻畑めぐみ	鈴木 悦代	鎌田 礼二	志子田吉晃	今野 恭一	桑原 成典	西村 勝男	伊藤 博章	土見 大介	柏 恵美子	浅野 敏江	小野 幸男		菅原 善幸	志賀 勝	鈴木 新一	佐藤 公男
12月定例会	議案第68号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第69号	特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		×	×	×	×	/	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
	議案第70号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第71号	塩竈市自転車等駐車場条例を廃止する条例		×	×	×	×	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第72号	令和5年度塩竈市一般会計補正予算		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第73号	令和5年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号	あらたに生じた土地の確認について		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号	町の区域を変更することについて		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号	令和5年度塩竈市一般会計補正予算		○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議員提出議案第3号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時の人道的停戦を求める決議		○	○	○	○	/	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決

次回の定例会は
2月14日(水)
午後1時開会予定です

定例会傍聴のお知らせ
定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されています。
本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴される方は、市役所（本庁）四階の傍聴席へお気軽においでください。
なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。
詳しくは、議会事務局まで。
(電話 355-6793)

審議結果は次のとおりです。
○否決としたもの
◆パレスチナ自治区ガザ地区における即時の人道的停戦を求める決議

決議

- 議会報編集委員会
委員長 志子田 吉晃
副委員長 小高 洋
委員 佐藤 公男
委員 菅原 善幸
委員 桑原 典
委員 土見 大介

今年は十二支で辰年でありますが、甲・乙・丙・丁の十干を組み合わせた六十干支では、「甲辰（きのえたつ）」にあたります。「甲」は物事の始まりを意味し「辰」は草木が成長し整っていく様子という意味であるとも言われています。60年前の「甲辰」にあたる1964年は、東京オリンピック、東海道新幹線の開業など日本がまさに先進国の仲間入りをした年でもありました。
年初から新型コロナウイルス感染症の制限をほぼ受けない、これまで通りのにぎわいを楽しめる年となりました。一方、物価高が続く苦しいスタートとなりました。
様々な経済対策が行われることとなりますが、その効果や対策の浸透など、議会でもしっかり議論してまいります。

編集後記